

2019年6月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

D.NEWS

Hokkaido Dental Association “Doushikai Tsushin”

苫小牧

TOMAKOMAI

第2回苫歯会学術発表会

日時：平成31年3月8日(金)

午後7時30分より

場所：苫小牧市民会館 2階 205号室



今回の学術発表会はより多くの先生やスタッフの皆さんに参加しやすい時間帯で行なうべく、例年とは異なり平日の夜



に開催された。第1部として北海道大学大学院歯学研究院 高齢者歯科学教室の山崎 裕教授により、「オーラルフレイル」という演題で講演い

ただき、第2部として例年と同じく会員発表を4演題行われた。

前半の山崎教授の講演では、「オーラルフレイル」という状態が実際にはどのような状態であり、全身的にはどのような状況に陥りやすいのか、オーラルフレイルと全身のフレイルとの関係、オーラルフレイルと口腔機能低下症との違い、口腔機能低下症に対する検査項目について詳細に解説いただいた。非常に内容が濃い講演であったため、たった1時間では物足りない印象を受けた。できれば再度講演いただければと思う。

後半の会員発表では歯科技工士会から1題、歯科衛生士会から1題、苫歯会から3題の発表があった。

例年と異なった開催時間、内容となった今回の会員発表では、多くの先生、スタッフに参加していただけたため、次年度以降の会員発表でも日時の検討がなされればと思う。(関 俊也 記)

第37回全日本歯科医師アイスホッケー大会

日時：平成31年3月15日(金)・16日(土)

場所：ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ

今年のアイスホッケー大会は苫歯会主管で開催された。今大会では釧歯会アイスホッケー部 North Fox、青森県歯会より



三沢バックストーンズ、岩手県歯会よりデンタル毘沙門、大阪府歯会より近畿デンタルロッキーズ、そして我らが苫歯会の苫小牧デンチャーズ合計5チームが参加された。

トーナメント形式により各チーム優勝目指して激戦が繰り広げられ、苫歯会はvs 三沢12対1、vs デンタル毘沙門7対4、vs 近畿デンタルロッキーズ7対1で見事9年ぶりの優勝、それも地元開催での優勝を手をすることができた。なお、準優勝は近畿デンタルロッキーズ、3位はデンタル毘沙門、4位は釧歯会 North Fox、5位は三沢バックストーンズという結果となった。

金曜、土曜と診療を休んで選手として参加していただいた先生、地元開催のため大会運営にお手伝いいただいた先生、選手へ熱い応援をしていただいた先生、皆様に御礼申し上げるとともに、来年度へ向けてデンチャーズの皆さんにはぜひとも連覇を期待したい。(関 俊也 記)

道警本部長感謝状贈呈

日時：平成31年3月26日(火)

場所：苫小牧市 ファミリー歯科クリニック

2018年9月6日に発生した胆振東部地震の犠牲者の身元特定に歯牙鑑定で貢献したとして、牛丸会長が道警本部長から感謝状を受け取った。22遺体の鑑定には6名の当会会員歯科医師が協力しており、それぞれに道警警備部長賞が贈られた。原口警備部長から未曾有の大震災のなか、懸命に活動してもらったと感謝の言葉もいただいた。(関 俊也 記)



北見

KITAMI

第2回木曜倶楽部

日時：平成31年3月27日(水)

午後7時30分より

場所：北歯会館

麻生北見病院歯科口腔外科 鈴木豊典 先生をお招きして「口腔粘膜・舌を診る」と題し講演会が行われた。

最近、タレントの堀 ちえみ さんが、ステージ4の舌がんであることを告白し平成31年2月22日に手術を受けた。その報道をきっかけに、現在歯科医院に口腔がんを心配し、受診される方が急増しているそうだ。

舌がんの初期症状として舌に白い膜が張った感じ、表面がこすれたように赤く

なっている、隆起してきた、小さなしこり、慢性的な潰瘍などが見られる。初期のがんをいかに診断するかが大事で補助的なスクリーニング手段として生体染色、細胞診、蛍光工学機器が用いられている。

今回、口腔がんの疑いのある病態に対する診察の仕方について教えていただき怪しいと思われる症例には、速やかに専門医へ紹介することが大事だと感じた。

(丸子修史 記)



稚内

WAKKANAI

臨時総会

日時：平成31年3月30日(土)

午後4時より

場所：稚内総合文化センター 会議室

臨時総会が開催され、会員数28名中出席者13名、委任状提出10名で総会は成立された。藤野会長の挨拶として、道歯代議員会、金パラの高騰の問題などについて報告があった。

議長には遠藤先生が選出され、議事録署名人として藤野先生、井須先生が選出された。議決事項として、第1号議案 平成31年度予算案承認に関する件、第2号

議案 平成31年度行事予定承認に関する件が挙げられ、どちらも賛成多数により可決した。

当会の会費納入人数は21人であり、深刻な資金不足が今後早期に予想され、厳粛な予算の見直しを遂行していかなければならない。報告事項として各担当理事より説明があり、総会は無事終了した。

(三浦佐和子 記)



小樽

OTARU

小樽歯科衛生士専門学校新入生宿泊研修

場所：いなきたコミュニティーセンター、朝里川温泉ウィンケルビレッジ

日時：平成31年4月12日(金)

当日はすっかり春らしい陽気で、まずはいなきたコミュニティーセンター体育館で運動会を開催。53期生23名に学校職員も加わり紅組、白組に分かれ、各種競技を行なった。

パン喰い競争では各選手十分な開口量を披露し、ギャラリーを沸かせた。ピンセット豆つまみ競技では、器用に豆を把持し診療器具を扱うセンスの良さを見せていた。最終競技の紅白リレーでは歯ブ

ラシをバトンに懸命に疾走。紅組が序盤から大きくリードするも、本年度から教務就任のY口先生が直角コーナーでまさかの転倒！大逆転で白組の勝利となった。

運動会終了後は朝里川温泉のコテージ(朝里川温泉ウィンケルビレッジ)に移動。自己紹介とビンゴ大会の後、夕食を協力しながら調理し、親睦を深めた。夕食後は職員紹介、伝言ゲームを行い、Y口先生の転倒も伝言ゲームのネタされてしまうなど、53期生は職員とすっかり打ち解けて、終始笑いの絶えないオリエンテーションであった。(山本栄治 記)

歯科衛生士会との懇親会

日時：平成31年4月12日(金)

午後7時30分より

場所：ぴあっと・ヌオーボ

歯科医師会が主催する「むし歯予防デー」・「いい歯の日」のイベントでお手

伝いいただいている北海道歯科衛生士会小樽支部との懇親会が開催され、参加者は16名だった。

小樽市歯科医師会、市村会長の挨拶の後、公衆衛生委員長 海老沼先生の乾杯で開宴となった。今期の反省や来期への改善点など食事をしながら話合った。

和やかな雰囲気のまま会は進み、小樽歯科衛生士専門学校同窓会、見延会長の乾杯にて終宴となった。(請川哲也 記)

小樽デンタルゴルフ部 4月オープン杯例会

日時：平成31年4月21日(日)

午前8時スタート

場所：小樽カントリー倶楽部 新コース

今年は積雪が少なかったこともあり、例年より新コースのオープンが早くコースコンディションも最高の中、今年の開幕戦が行われた。当日はこの時期としては暖かい気温16度、なおかつ風もないゴ



ルフ日和となった。

いつもは土曜日の午後スタートなのだが、コースの都合により日曜日の朝開催となったため、参加者は8名とやや少なかったが全員楽しくプレーすることができた。

ラウンド後、懇親会・表彰式が行われ、今年度幹事の千葉真弓 先生がネット75でベストグロスでの優勝、飛ばし屋 渋谷繁男 先生がネット76で準優勝という平成最後の結果になった。(兵藤博昭 記)

千歳

CHITOSE

野球部結団式 - シーズンの幕開けです -
日時：平成31年4月5日(金)
午後7時30分より
場所：恵庭市「小ばちゃん」
新入部員も含め30名ほどが集結し、結団式が開催された。
広めの宴会場が所狭しといっぱいになった。
今年はA・B・Cの3チームが編成される予定で、過去にない程に熱気が感じられる結団式となった。
まず、杉江会長の挨拶と佐竹（父）先



生の乾杯の音頭で開宴となった。
毎年、どここの郡市区歯会でも平均年齢が上がり、野球部の高齢化が進んでいるが、当会は毎年コンスタントに新入部員を迎え入れ、今年も30代のフレッシュな2名と、かなり体力にかげりが見える50代の3名、の計5名のメンバーを新たに加え、年々部員が増加しているという他では見られない光景を目にすることとなった。



その後、1人ずつ今年にかける意気込みが述べられ、真鍋副会長（応援団長）の締め言葉で閉会となった。
今年は札幌大会ですので、週末に野球部の応援とそして部員の活躍を見に行き、そしておいしい物を食べて帰るというのもいいのではないのでしょうか。
ちなみに新入部員はというと小西、高津、

松本（敦）、村上（秀）、横山 各先生です。
更に付け加えると、新入会員の横山先生は現役のラガーマンでクラブチームに所属し、釣りもかなりの本格派とのことで、200kgオーバーのマグロを釣り上げたこともある異色の経歴の持ち主とか。当会には釣りキチも多いですですのですぐに馴染めそうな予感。
（高津良二 記）



岩見沢

IWAMIZAWA

会計監査
日時：平成31年4月18日(木)
午後7時より
場所：岩歯事務所
平成30年度会計監査を行なった。出席

者は総務7名（永山 裕 連盟会長を含む）と監事2名、飯田 枢 顧問税理士の計10名。
山本達也 理事から一般会計について、白井洋一 理事から連盟会計について、それぞれ収支決算書の内容を説明し、勝木拓洋 監事、寺澤和彦 監事が提示された資料について確認した。両監事ともに理事歴が長いが、今期初めて監事を務めた寺澤監事は「監事の責任の重さを知った2

年間だった」と感想を述べられた。4年間監事を務めた勝木監事からは、理事会や理事の在り方について、終了後の懇親会でも、今後の岩歯会をどう運営していくべきか、他にも忌憚のない意見をたくさん頂戴した。
現執行部の大半が次期も理事を継続する予定となり、これらを次期に生かしたいと考えた次第である。
（久恒泰宏 記）



函館

HAKODATE

部会合同慰労会
日時：平成31年4月6日(土)
午後6時より
場所：Hakodate Dining 備後屋
平成29年6月の発足から2年が過ぎ任期満了となったため、各事業にご協力いただいた各部部員の皆様・各部役員の労をねぎらうために標記慰労会が開催された。
公衆衛生部員・学術部員・厚生部員で協力をいただいた部員の先生方、また兼部されて活躍をされた先生方、各部担当

理事の先生方が顔を合わせた慰労会となった。
公衆衛生部においては、「歯と口の健康週間事業」をはじめ、市民への啓発活動が年中開催されるため準備に追われる日々であった。函館市の町内会からの講演依頼や老人大学からの講演依頼、函館市健康増進課からの「健康づくりプロモーション事業」など、平日の日中での講演が多く、担当理事や講演者には診療時間を割いて協力いただいた。
学術部においては、函歯臨床研究発表会をはじめ、学術部主催の勉強会など北海道内外から講演者に来函していただき最新の情報をより多く身に着けることができ、明日からの臨床に役に立つ研修会

を開催した。
厚生部においては終身会員祝賀会・新年交礼会をはじめ、函歯レクリエーション大会など100人規模のイベントが多く、新しいアイデアを発案・行動していくには大変な時間を要した。
今後、函歯会を担うであろう若い先生方においては来期・来々期・・・とご協力をいただくことになるだろう。伝統を守りつつ、新しいことにもチャレンジし、環境変化に随時対応していくフットワークの良さを期待したい。
平成27年6月に発足した田嶋執行部は5月25日（土）の函歯総会をもって任期満了で解散となった。昨年6月に開催された北海道歯科医師野球大会の主幹も大

成功に終了し、開催地優勝は無理とのジックスを見事破り、Aチーム優勝のおまけつきで大会を終了することができた。
田嶋執行部で広報担当を4年間担当させていただき、函歯会の事業の多さ、日々苦悩されている担当理事の皆様を目のあたりにし、大変な努力と時間を費やしていることを知り、頭が下がる思いです。
私事ではございますが、全道の先生方からたくさんの方の叱咤激励をいただきました。毎月楽しみに原稿を読んでいたいただいた先生方、本当に良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。
（向山英明 記）

旭川

ASAHIKAWA

学校歯科健診講習会
日時：平成31年4月4日(木)
午後7時30分より
場所：旭歯会館 大会議室
小中学校の学校歯科医を対象とした学校歯科健診講習会が行われ48名の参加があった。学校保健担当理事が講師となり学校歯科医の学校保健における役割、健康診査の流れと要点などを理解し健診の

精度を上げるため毎年実施している。
旭川市内の小中学校におけるフッ化物洗口が実施され昨年で6年経過したが、12歳児DMFTが開始時1.62本であったものが6年目で0.78本と素晴らしい数値を収めている。子どものう蝕は減少しているが、歯科健診で目の当たりにするようう蝕の健康格差は依然として存在している。フッ化物洗口は子どもの健康格差を解消することも目的の一つということを再確認できた。
この講習で全学校歯科医の判定基準の標準化を図り精度の高い健診結果でさらなる実施率の向上を目指したいと思う。

（矢口敦久 記）
旭川デンタルインプラント研究会・総会春季例会
日時：平成31年4月14日(日)
午前10時より
場所：旭歯会館
標記研究会・総会春季例会が開催された。
特別講演として、講師に渋川歯科医院 渋川義宏 先生をお招きし『新しい歯周組織再生剤「リグロス®」の薬理作用と臨床的キーポイント』と題して、講演をいただいた。
（今宮克明 記）



日高

HIDAKA

平成31年度第1回 日高歯科医師会ゴルフコンペ
日時：平成31年4月14日(日)
場所：平取カントリー倶楽部
平成最後のゴルフ部活動が行われ、日高歯科医師会4月のコンペ史上最高の天候のなか、4名のゴルフ部員が集まった。



中村ゴルフ部部長の挨拶の後、西川一雄先生自慢の先週買ったドライバーで、ナイスショットでのスタートとなった。
結果、西川先生が82で優勝した。先週も同じコースで73を出し、好調を維持し、えりものタイガーも復活した。準優勝は、井上達也 先生で、ドラコンとニアピンの獲得もあった。
表彰の後には、平取恒例のジンギスカンに舌鼓を打ち、会員同士の親睦を深めた。
（青山哲也 記）

平成31年度定時総会
日時：平成31年4月20日(土)
午後1時から午後2時
場所：ホテルローレル
出席会員数：31名(出席19名、委任状による出席10名、欠席2名)
中本専務理事が開会を宣言し、議長の選任、西川会長の挨拶、報告事項と進み、

以下の議決事項が承認され、閉会となった。
議題：
第1号議案 平成30年度収支決算に関する件
第2号議案 一般社団法人日高歯科医師会理事の選挙に関する件
第3号議案 一般社団法人日高歯科医師会監事の選挙に関する件
第4号議案 一般社団法人日高歯科医師会定款変更に関する件

新役員等は以下の通り。（カッコ内は兼務）
会 長 山口一史（代議員）
副 会 長 舟木理一郎
（国保組合会議員、公衆衛生）
副 会 長 青山哲也（社保）

専務理事 谷本 亮（総務、会計）
学 術 中脇禎輝
公衆衛生 岡 昌司
広 報 原田史也
庶 務 波川博明（広報）
監 事 河合祥司
監 事 土井統雄
相 談 役 西川一雄
顧 問 井上達也
顧 問 鮫島道幸
顧 問 堤田幸一
（原田史也 記）



後志

SHIRIBESHI

平成30年度 後志歯科医師会 第1回臨時総会

日時：平成31年3月26日(火)
午後7時30分より
場所：余市町 ホテル水明閣



余市町 ホテル水明閣において、26名の参加者のもと、後志歯科医師会役員選挙に関する件や、平成31年度事業計画に関する件などについて、平成最後の臨時総会が執り行われた。

役員選挙では練合哲哉 会長が再選された。(藤 秀樹 記)

平成31年度第1回臨時理事会

日時：平成31年4月6日(土)
午後5時30分より

場所：余市町「華勢」



臨時総会を受けて、新旧役員における各理事申し送りが行われた。第1回臨時理事会が開催され、各理事とも抱負を語った。臨時理事会ののち、新旧役員懇親会が開催された。(高野秀喜 記)

ボウリング部4月例会

日時：平成31年4月9日(火)
午後8時から午後9時30分

場所：ファミリーボウル岩内

優勝 島田、準優勝 黒田、1位 伊藤、
2位 中村、3位 長澤、

4位 金塚、5位 土方、
6位 井筒、7位 土方(妻)、
BB 山田、BM 青山

今大会は伊藤が幹事として賞品を用意、定番ではあるが仙台三角定義揚げを用意した。



優勝はボウリング歴の浅い島田先生。しかも当日より競技用シューズを履いての参加で優勝をもぎ取った。若さと素直さで一番の成長株である。初幹事。次回賞品が楽しみである。(伊藤 純 記)



		①	②	③	HDCP
優勝	島田	173	220	201	61→55
準優勝	黒田	179	200	180	37→38
1位	伊藤	193	214	179	22→22
2位	中村	192	198	213	49→43

3位	長澤	191	175	189	23→26
4位	金塚	157	207	202	64→62
5位	土方	168	158	187	28→37
6位	井筒	170	149	186	46→54
7位	土方(妻)	178	161	185	54→58
BB	山田	188	170	164	55→60
BM	青山	170	147	160	25→38

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80%で算出した。

第1回定例理事会

日時：平成31年4月25日(木)
午後7時30分より

場所：岩内町 ホテルいのう

平成最後の理事会が岩内町 ホテルいのうで行われた。平成30年度事業報告の件、平成30年度決算の件など、年号が変わって5月18日に行われる平成31年度・令和



元年度定例総会の準備が討議された。(望月岳志 記)

十勝

TOKACHI

十勝歯科医師会音更会総会

日時：平成31年4月19日(金)
午後7時30分より

場所：はげ店本店

標記音更会(代表 栗原延好)総会が行われた。平成30年度幹事の柳井大正 先生、生方久仁子 先生より活動報告、会計報告があった。平成31年度幹事は高橋 仁 先



生、谷口晃一 先生が担当する。以降の幹事の当番の確認、平成31年度における1歳6か月児健診と3歳児健診の分担および、これまでの変更点の確認、音更福祉祭り2019の打ち合わせ日程の決定などが行われた。

最後に元 音更会代表で昨年他界された矢野 進 先生に黙祷をささげ、閉会となった。(大和志郎 記)

平成31年度 十勝デンタルグリーン会始動!

日時：平成31年4月21日(日)
12:36スタート

場所：十勝カントリークラブ

爽やかな春陽のもと行われた。今年は会員数も例年に比べ多く増え、平成最後のデンタルグリーン会ということもあってか、会員20名中16名参加と普段より賑やかな例会となった。行木幹事長司会のもと開会式が行われ、賀陽DG会会長から新年度の挨拶と今年から適応される新ルールについて説明を受け、例会がスタートした。



途中から肌寒くなったせいか、肝心のプレーの方は全般的に少し低調だったようだが、安定のチャージをみせるメンバー達、流石であった。

これから更に気持ち良いゴルフシーズンが始まりますので、来月の令和最初の例会もよろしくお願いいたします。なお、会員の高齢化が進んでおります(笑)! (写真参照)。十歯会員の皆さんの新規加入もよろしくお願いいたします!

(柴田慶郎 記)

十勝歯科医師会帯広会新旧幹事引継会

日時：平成31年4月25日(木)
午後7時より

場所：ホテル日航ノースランド帯広

標記帯広会(会長 大滝達哉)新旧幹事引継会が開催された。帯広市での小学校におけるフッ化物洗口普及に備え、十勝振興局の井谷医療参事によるフッ化物洗口の勉強会も兼ねた例年とは趣が異なった幹事会であった。

笹原、高田、水藤各幹事および、鶴島、芝多監査が退任され、新たに坂野、小西、高橋浩司 先生が新幹事、長瀬、武田重喜 先生が監査に新たに就くこととなった。最後に鶴島前監査の発声による締め挨拶で閉会した。(行木隼人 記)



室蘭

MURORAN

「歯と口の健康週間」第1回全体会議

日時：平成31年4月10日(水)
午後7時30分より

場所：室歯会館 小会議室



6月1～2日開催予定の「歯と口の健康週間」事業について、各関連団体との会議が行なわれた。室歯会からは飯淵副会長、藤井公衆衛生部長をはじめ、地域医療部長、広報部長、3地区運営協議会役員が出席した。また、行政からは室蘭保健所、室蘭市役所、登別市



役所の担当者、歯科衛生士会、栄養士会、当日公開生放送をさせていただく「FMびゅう」の担当者も出席した。さらに今回よりこのイベントに参加していただけることとなった言語聴覚士の方々も出席した。

藤井公衆衛生部長の挨拶、司会により会議は進行され、出席者自己紹介の後、イベントの内容やタイムスケジュール、図画ポスター展示と表彰、8020表彰、親と子のよい歯のコンクール、FMびゅうの公開生放送といった、イベントの概要が説明された。昨年の反省から表彰式のタイムスケジュールや会場レイアウトの見直しが検討され意見が出された。イベン

ト当日についても今回から参加される言語聴覚士のスペースをどうするか、またブースによって動員数の偏りがあるため、いかに来場者を誘導するかといったことも検討された。言語聴覚士の参加により嚙下についての相談等も行われることとなった。

出席者から出された意見は、各々持ち帰り検討し、第2回の全体会議で話し合われることとなった。(畠山雄一 記)

パラレルスキークラブ納会

日時：平成31年4月13日(土)
午後6時より

場所：室蘭市中島町 やきとりの一平

室歯会のスキー同好会であるパラレルスキークラブの今シーズンの納会が行われた。8名の出席のもと、由川 一 会長の挨拶、乾杯で宴が始まった。事業報告が幹事より行われ、今シーズンのスキーツアーが報告された。予定ではバスツアー4回、一泊ツアーが1回であったが、平成30年12月24日中止、平成31年1月14日中止、1月27日ルスツリゾート、3月

23、24日(一泊ツアー)中止という結果だった。バスツアー2回と一泊ツアーは人数不足のため残念ながら中止となったことが報告され、今シーズンは1回だけのスキーツアーとなり、寂しいものとなった。

来シーズンの検討事項として、バス料金の値上がりに加え、参加人数の減少によりツアー開催が大変難しい状況になっているため、来シーズンは3回行っているバスツアーの1回を現地集合の形で開催することが提案された。また宿泊ツアーはできれば2月末から3月の初めに行なった方が参加者も多くなるのではないかと意見や、バスツアーでは参加者の移動の時間が地域によって違うため、スキー場の選定も含めて改善していくことが今後の課題として出された。今回、クラブ設立以来、初めて宿泊ツアーの中止もあったので、今後の活動に関して盛り上げていくため多くの意見が出された。

納会終了後は多くの先生が二次会に参加し、スキーに関することや仕事の話で大いに盛り上がった。(穴戸秀徳 記)

釧路

KUSHIRO

平成30年度釧路会臨時総会

日時：平成31年3月30日(土)
午後3時より

場所：釧路会館 大講堂

岡田専務の開会宣言の後、議長に蒲澤文克 先生、副議長に河野昭彦 先生が選出され、議長の開会の辞で臨時総会が始まった。

中谷会長の挨拶の後、議決事項として鳥本選挙監理委員長より役員選挙に関する件、各候補者の報告があった。

会長候補者、監事候補者、北海道歯科医師会代議員・予備代議員候補者ともすべて定数であり、各々会員全員に承認された。

候補者は以下の通り。

会長候補者に岡田実継 先生。監事候補者に大澤正幸 先生、辻 浩人 先生、北海道歯科医師会代議員候補者に伊藤隆志 先生、鹿野洋一 先生。予備代議員に栗野俊哉、高田敬万 先生、渡部仁夫 先生。

引き続き北海道歯科医師国民健康保険組合会議員選挙が行われ、伊藤 理 先生、三本和宏先生が議員に承認された。

その後、岡田新会長候補者より挨拶があり、副議長の閉会の挨拶で閉会した。

会長候補者、監事候補者、北海道歯科医師会代議員・予備代議員候補者は6月



1日(土)の定時総会で最終的に決定する。(栗野俊哉 記)

医療管理講演会

日時：平成31年4月13日(土)
●●時より

場所：釧路会館 大講堂

北海道大学歯学部同窓会釧路支部主催・釧路歯科医師会後援の医療管理講演会が釧路会館にて50名弱の出席者のもとで行われた。

今回の講演会は「信頼される歯科医院づくりの勘所」と題して、弁護士法人小畑法律事務所代表の小畑 真 先生に講演いただいた。

近年、歯科医療トラブルは増加するとともに、その内容も大きく変化しており、



ネット社会の広がりによって、以前は認識されていなかった情報を認識できるようになってきたことで、これまでまったくトラブルにならなかったことが大きなトラブルに発展することも少なくない傾向にあること。さらには、間違った情報を鵜呑みにしたり、情報を見誤って大きな損害を被る歯科医院も出てきているこ

となど、論点を簡潔にお話しいただいた。

後半はダブルライセンスを活かした歯科医療専門弁護士としての立場から、変容する最近の歯科医療トラブルの現状を具体例など交えて解析していただき、これからの社会で信頼される歯科医院づくりに必要な視点や注意事項についてわかりやすい講演だった。(山本 誠 記)

ゴルフ同好会オープン杯ゴルフコンペ

日時：平成31年4月21日(日)

●●時スタート

場所：釧路カントリークラブ 鶴居東コース
標記ゴルフコンペが開催された。天候は良いものの、まだ肌寒い中14名の参加者を得、無事ラウンドを終了後、クラブハウスにて表彰式と本年度の総会を行なった。

優勝はグロス92ネット61で平出直人 先生がダントツ優勝した。平出先生には昨年で勇退された本間榮一 先生に代わり、本会会長を引き受けていただくことになり、総会にて承認された。

令和においても引き続き本会が盛会になるよう祈念しつつ終了した。(棒田健詩 記)



札幌

SAPPORO

平成30年度口腔医療センター第2回所員・担当医研修会

日時：平成31年3月16日(土)
午後4時より

場所：札幌会館 大講堂



講師に新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野 井上 誠 教授をお招きし「それって本当？摂食嚥下リハビリテーション」と題し講演いただいた。会員62名(所員・担当医含む)、スタッフ9名、合わせて71名の出席があった。

平成23年の厚労省の統計資料によると

肺炎が日本人の死亡原因の第3位になったが、その後平成29年には肺炎による死亡数が激減し第4位となった。これは、実は肺炎のほかに「誤嚥性肺炎」という項目が新たにできたため、肺炎と誤嚥性肺炎を合わせると、いまだに第3位である。このことから死亡原因として誤嚥性肺炎がより重要視されてきていることがうかがえる。そのような状況で開業歯科医がやるべきこととして「咀嚼の回復」を挙げられ、これが「嚥下への回復」への道と成り得るとのこと。そして、一緒に仕事ができる医師がいることが大切であると話された。介護食にも触れられ、菓子の「ハッピーターン」が摂食嚥下スクリーニング検査に使われるほど、安全性があり、適性もあるという話は大変興味深かった。食事からQOLを上げるために①食の安全は物性のみで決まるものではない ②なぜ食べられないのか(食べられるのか)の診断が必要 ③嚥下機能以外の要素を考慮する必要がある(認知、経験、嗜好、咀嚼、唾液分泌、食事介助のレベル)、の3点を挙げられた。

口腔医療センターの摂食嚥下外来も、超高齢社会において、その役割が益々重要になっていくと思われる。井上先生は



今までの摂食嚥下リハビリテーションのあり方を一度疑って検証してみること、また、歯科医師や歯科衛生士の関わり方について詳細にご講演いただいた。

(濱 秀樹 記)

第12回臨時総会

「2019年度事業計画案・予算案に関する件」など全議案が可決

日時：平成31年3月30日(土)

午後3時より

場所：札幌会館 大講堂

上記日時に第12回臨時総会が開催された。総会成立の定足数が確認された後、尾崎副会長による開会の辞に続き、物故会員7名に対し哀悼の意を込めて黙祷が捧げられた。

議長に塚本剛之 先生(南支部)、副議長に太田陽一 先生(北支部)が選出された後、山田会長より所信表明のご挨拶があった。



報告事項では1)会務現況報告 2)監査報告 3)道歯代議員会報告(第225回道歯臨時代議員会)などがあった。

決議事項は第1号議案「2019年度事業計画案に関する件」が、各担当理事からの詳細な説明があった後、「2019年度予算案に関する件」など全6議案が上程され、賛成多数により可決決定された。協議事項として、執行部より「終身会員の殊遇、会費などに関する件」が上程され、活発な意見交換がなされた。諸留副会長による閉会の辞と共に総会の全日程を滞りなく終了した。(野澤俊彦 記)

登録は
お済みですか？

『Do歯メール配信』\\ 会員募集中 //

『Do歯メールマガジン』に登録はお済みですか？現在の登録者数は1,100名を超えており、無料で登録ができます。

会員の皆様に今すぐ知っていただきたい、速報ニュースを配信することもありますので、ぜひ登録を!!また、カラー写真やカラー文字を取入れて、見やすくポップに作成することを心掛けて配信しています。

なお、登録の際は、① 所属郡市区歯会 ② 氏名(ふりがな)③ 生年月日 ④ 開業医院名または勤務先 ⑤ TEL ⑥ FAX ⑦ Eメールアドレスを下記問い合わせ先にFAXまたはE-mailでお申込みください。

毎月下旬に発行

・日常の臨床に役立つ情報
・道歯各会議の報告

号外も発行

・道歯主催の研修会告知
・お楽しみ情報
・緊急性を要するニュース

バックナンバー発行

・道歯 会員ホームページ (<http://doushi.net/member/>) にアクセスし、指定のIDとパスワードでログインすると、『Do歯メール配信』のバックナンバーをみることができます。

【お問合せ・連絡先】

北海道歯科医師会 事務局 広報担当

TEL 011-231-0945 FAX 011-271-7514

E-mail d-haisin@doushi.net